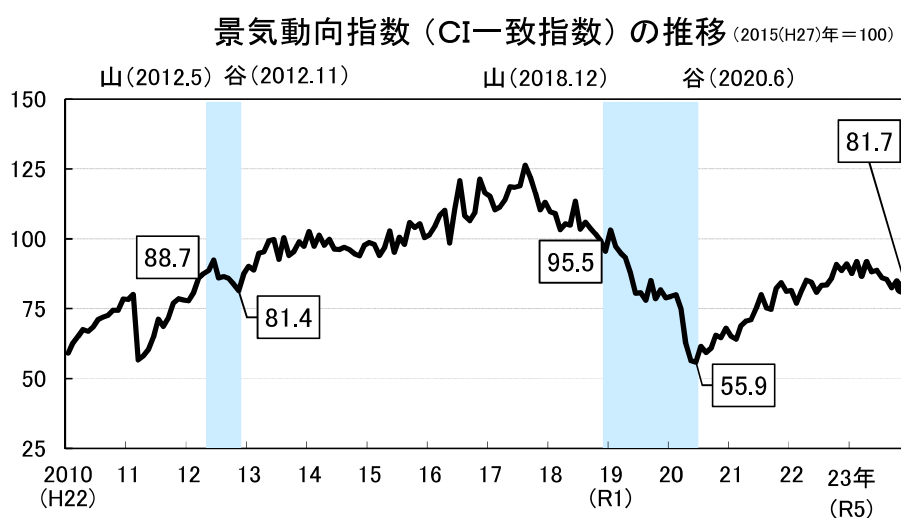


青森県景気動向指数

2023(令和5)年12月分



目次

1 CI版	1
2 DI版(参考)	7
3 利用の手引き	1 3

令和6年3月

青森県企画政策部統計分析課

1 C I 版

(1) 2023 (令和5) 年12月分結果概要

(2015 (H27) 年=100)

先行指数	114.7	(前月を6.4ポイント上回り、2か月ぶりに上昇した)
一致指数	81.7	(前月を0.7ポイント下回り、2か月連続で下降した)
遅行指数	89.4	(前月を6.8ポイント下回り、2か月連続で下降した)

12月の一致指数は、一部の雇用・消費関連指標がマイナスになったことから下降した。

(足下の基調の変化をみる「3か月後方平均」は6か月連続で下降した。)

(景気の局面の変化をみる「7か月後方平均」は6か月連続で下降した。)

(2) 個別系列の動き

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
先 行 系 列					
新規求人倍率（全数）	5. 59	2 か月ぶり	建築着工床面積	-2. 98	2 か月連続
中小企業景況DI	2. 42	3 か月連続	乗用車新車登録届出台数	-0. 24	2 か月連続
生産財生産指数	1. 21	2 か月連続	日経商品指数（42種）	-0. 22	3 か月連続
企業倒産件数（逆サイクル）	0. 69	3 か月連続			
新設住宅着工床面積	0. 02	2 か月連続			
一 致 系 列					
鉱工業生産指数	0. 83	2 か月連続	観光入込客数	-2. 19	4 か月連続
輸入通関実績（八戸港）	0. 42	2 か月連続	有効求人倍率（全数）	-0. 04	2 か月連続
所定外労働時間指数（全産業）	0. 16	2 か月ぶり			
百貨店・スーパー販売額（既存店）	0. 11	4 か月ぶり			
投資財生産指数	0. 06	3 か月連続			
遅 行 系 列					
定期給与指数（全産業：実質）	1. 36	2 か月連続	りんご消費地市場価格	-3. 83	2 か月連続
家計消費支出（勤労者世帯：実質）	1. 03	2 か月連続	公共工事請負金額	-3. 56	2 か月連続
県内金融機関貸出残高	0. 42	2 か月連続	青森市消費者物価指数（総合）	-1. 33	2 か月連続
			有効求職者数（全数）（逆サイクル）	-0. 82	2 か月連続

【今月の特徴的な動き】

○先行系列

- ・新規求人倍率が上昇したほか、中小企業景況DIが上昇したことから寄与度がプラスとなった。

○一致系列

- ・プラスに寄与する指標が多い中、観光入込客数が大きく低下したことから寄与度がマイナスとなった。

○遅行系列

- ・りんご消費地市場価格が低下したほか、公共工事請負金額が減少し寄与度がマイナスとなった。

(3) 採用系列の寄与度

系 列 名		2023					
		7月	8月	9月	10月	11月	12月
先 行 系 列							
1. 乗用車新車登録届出台数	前月差	-18.6	16.9	-8.1	3.5	-5.3	-1.0
	寄与度	-4.13	3.97	-1.99	0.77	-1.28	-0.24
2. 生産財生産指数	前月差	-5.1	-1.1	6.4	-4.1	0.2	6.4
	寄与度	-0.87	-0.20	1.21	-0.77	0.06	1.21
3. 新規求人倍率（全数）	前月差	-0.10	0.16	-0.08	0.09	-0.20	0.12
	寄与度	-4.81	6.43	-4.20	4.11	-5.91	5.59
4. 日経商品指数（42種）	前月差	1.8	0.5	0.5	-0.6	-0.4	-0.2
	寄与度	1.77	0.56	0.54	-0.54	-0.38	-0.22
5. 新設住宅着工床面積	前月差	24.9	-18.9	14.2	-44.8	9.4	-0.3
	寄与度	1.76	-1.41	1.09	-3.28	0.79	0.02
6. 建築着工床面積	前月差	-19.7	101.2	-47.9	67.1	-61.4	-50.8
	寄与度	-1.14	5.83	-2.81	3.78	-3.62	-2.98
7. 企業倒産件数（逆サイクル）	前月差	83.3	-25.0	-75.0	116.7	58.3	8.3
	寄与度	5.82	-1.94	-5.64	6.00	4.48	0.69
8. 中小企業景況DI	前月差	13.4	6.6	-13.3	0.0	3.3	10.0
	寄与度	3.04	1.58	-3.26	0.01	0.78	2.42
（一致指数トレンド成分）	寄与度	-0.07	-0.11	-0.16	-0.17	-0.09	-0.09
【C I 先行指数】	前月差（※イント）	1.4	14.7	-15.2	9.9	-5.2	6.4
		104.1	118.8	103.6	113.5	108.3	114.7
※3カ月後方平均	前月差（※イント）	-0.7	4.5	0.3	3.2	-3.5	3.7
		104.0	108.5	108.8	112.0	108.5	112.2
※7カ月後方平均	前月差（※イント）	-1.8	0.9	-1.0	-1.3	0.3	1.4
		109.1	110.0	109.0	107.7	108.0	109.4
一 致 系 列							
1. 百貨店・スーパー販売額（既存店）	前月差	2.2	1.9	-3.4	-1.0	-0.2	0.4
	寄与度	0.67	0.56	-1.03	-0.32	-0.07	0.11
2. 観光入込客数	前月比伸び率（%）	-6.5	5.5	-8.3	-3.5	-6.0	-56.8
	寄与度	-0.74	0.59	-0.92	-0.38	-0.65	-2.19
3. 鉱工業生産指数	前月比伸び率（%）	-2.8	-2.2	-1.0	-0.1	0.6	3.8
	寄与度	-0.66	-0.50	-0.20	-0.01	0.15	0.83
4. 投資財生産指数	前月比伸び率（%）	-3.4	-1.2	-2.9	1.2	18.1	0.8
	寄与度	-0.28	-0.11	-0.24	0.06	1.28	0.06
5. 有効求人倍率（全数）	前月差	-0.02	0.00	0.00	0.03	-0.03	0.00
	寄与度	-1.90	0.00	-0.01	2.66	-2.71	-0.04
6. 輸入通関実績（八戸港）	前月差	6.4	-16.4	-5.5	0.9	4.1	9.6
	寄与度	0.23	-0.91	-0.35	-0.02	0.13	0.42
7. 所定外労働時間指数（全産業）	前月差	0.5	-2.0	-1.8	4.8	-6.5	1.4
	寄与度	0.06	-0.24	-0.21	0.56	-0.75	0.16
【C I 一致指数】	前月差（※イント）	-2.6	-0.6	-3.0	2.5	-2.6	-0.7
		86.1	85.5	82.5	85.0	82.4	81.7
※3カ月後方平均	前月差（※イント）	-1.8	-0.9	-2.1	-0.4	-1.0	-0.3
		87.7	86.8	84.7	84.3	83.3	83.0
※7カ月後方平均	前月差（※イント）	-0.7	-0.3	-1.3	-0.3	-1.3	-0.9
		88.7	88.4	87.1	86.8	85.5	84.6
遅 行 系 列							
1. 家計消費支出（勤労者世帯：実質）	前月差	-0.8	8.4	-11.5	-20.4	3.7	13.7
	寄与度	-0.06	0.65	-0.92	-1.64	0.30	1.03
2. 定期給与指数（全産業：実質）	前月比伸び率（%）	-1.1	-1.2	0.0	-0.2	1.0	1.0
	寄与度	-1.63	-1.74	0.01	-0.30	1.46	1.36
3. 有効求職者数（全数）（逆サイクル）	前月差	-2.6	0.6	-0.5	0.7	-0.7	-1.6
	寄与度	-1.37	0.29	-0.27	0.32	-0.41	-0.82
4. 県内金融機関貸出残高	前月差	-0.2	-0.1	0.1	-1.1	0.0	0.2
	寄与度	-0.41	-0.19	0.21	-2.17	0.04	0.42
5. 青森市消費者物価指数（総合）	前月差	0.2	0.0	0.1	1.0	-0.8	-0.6
	寄与度	0.46	0.02	0.25	2.31	-1.85	-1.33
6. りんご消費地市場価格	前月比伸び率（%）	9.7	-1.0	10.1	12.0	-5.6	-49.8
	寄与度	1.80	-0.29	1.80	2.23	-1.29	-3.83
7. 公共工事請負金額	前月差	2.0	13.2	-14.8	35.9	-2.4	-110.5
	寄与度	0.06	0.42	-0.52	1.17	-0.12	-3.56
（一致指数トレンド成分）	寄与度	-0.06	-0.10	-0.14	-0.15	-0.08	-0.08
【C I 遅行指数】	前月差（※イント）	-1.2	-1.0	0.5	1.7	-1.9	-6.8
		96.9	95.9	96.4	98.1	96.2	89.4
※3カ月後方平均	前月差（※イント）	-1.4	-1.7	-0.6	0.4	0.1	-2.3
		98.7	97.0	96.4	96.8	96.9	94.6
※7カ月後方平均	前月差（※イント）	-1.5	-0.7	-0.5	0.6	-0.7	-1.6
		98.8	98.1	97.6	98.2	97.5	95.9

(4) グラフ

①各指数のグラフ

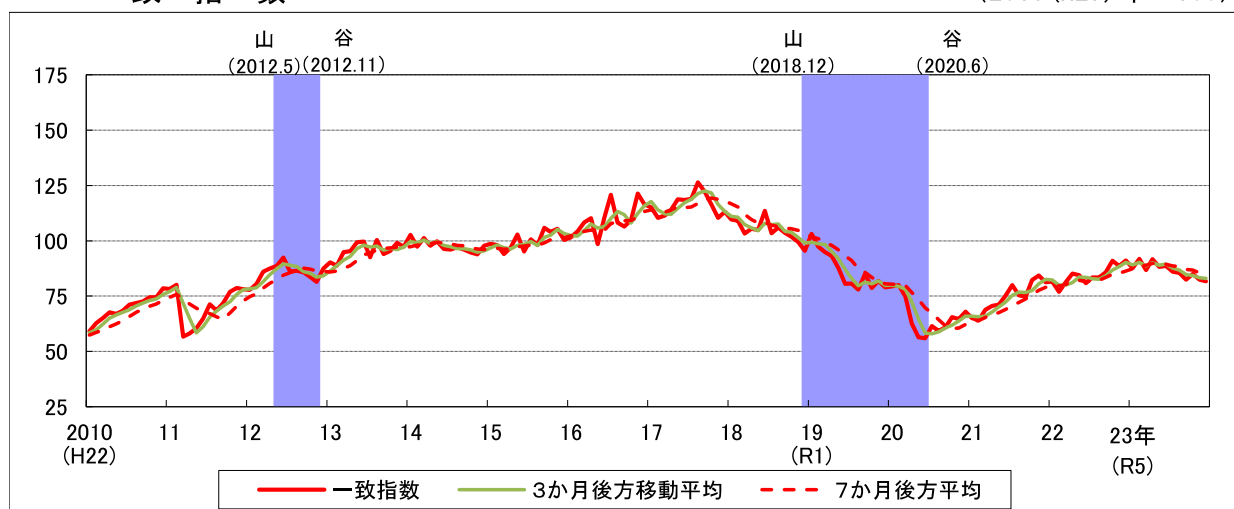
先行指数

(2015 (H27) 年=100)



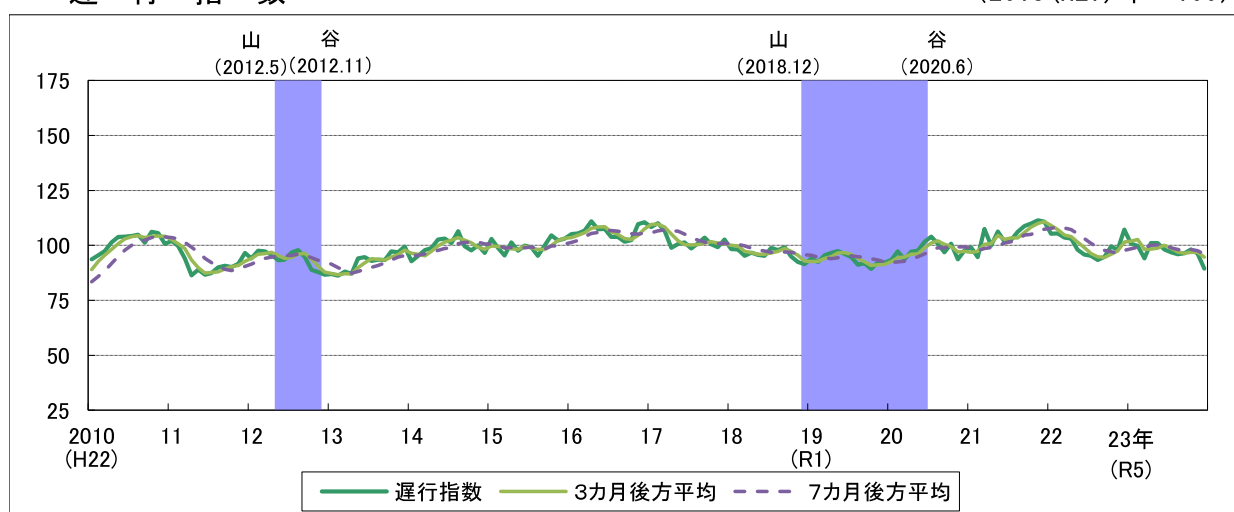
一致指数

(2015 (H27) 年=100)



遅行指数

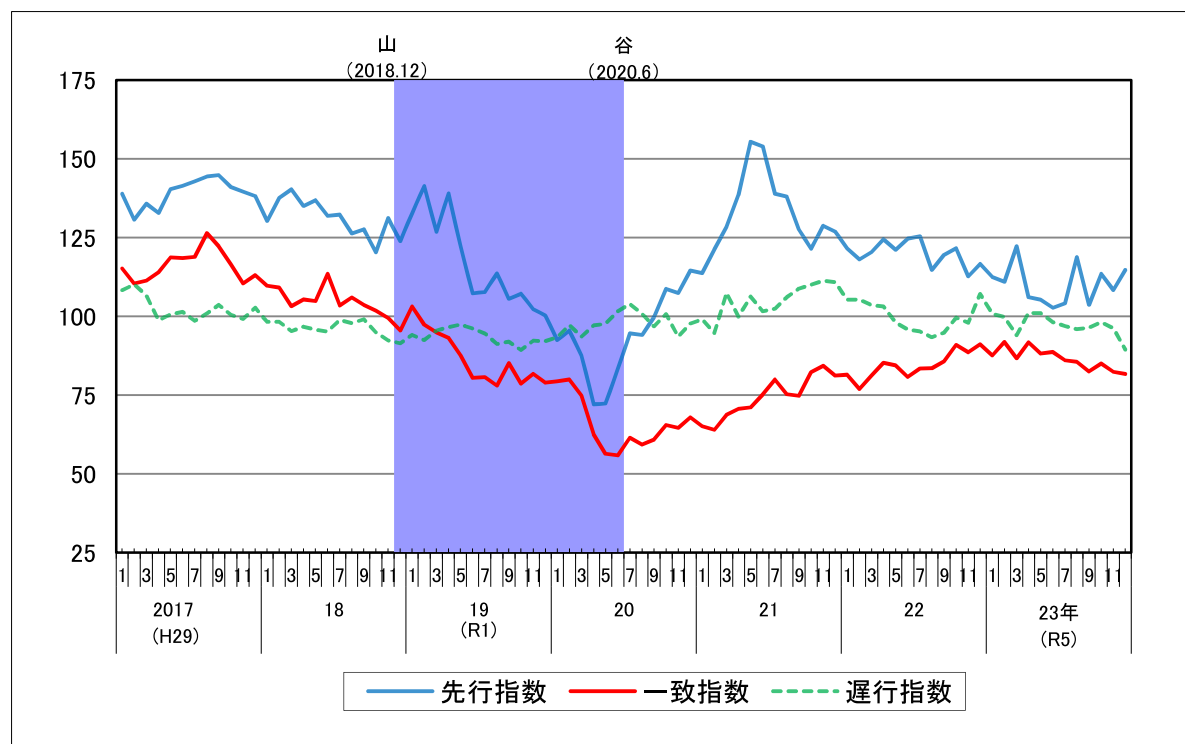
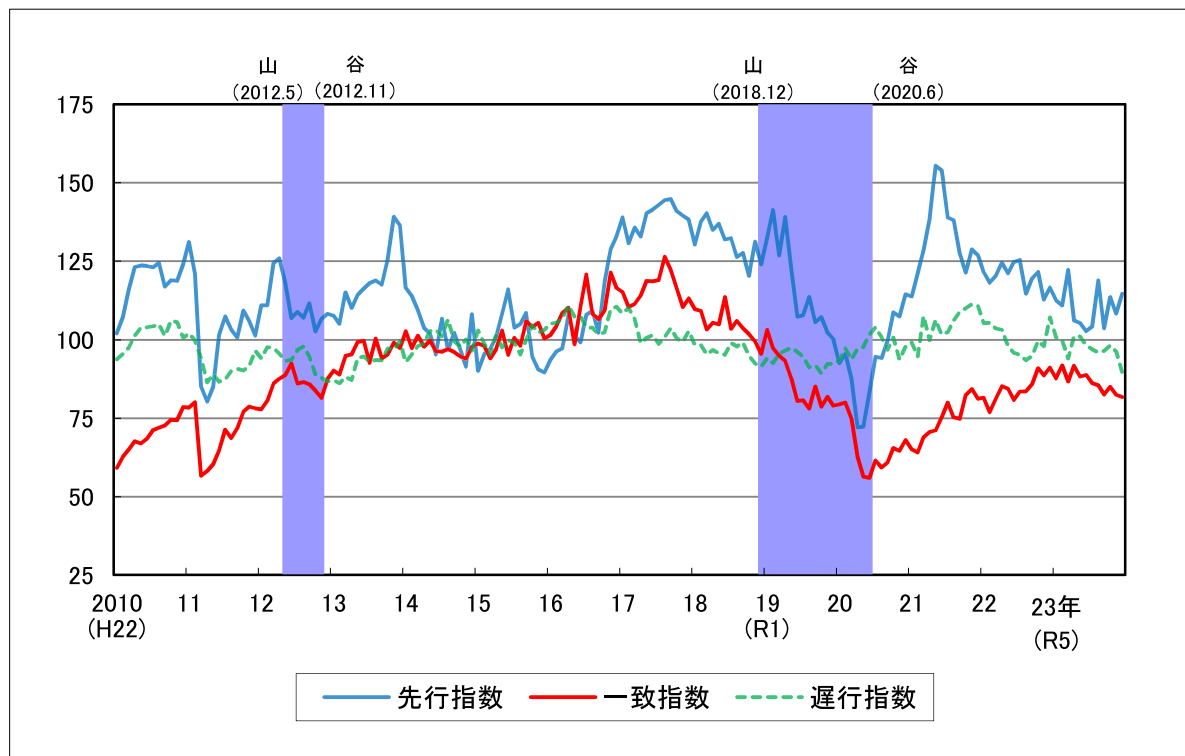
(2015 (H27) 年=100)



※シャドー部分は本県景気の後退局面。

②各指数のグラフ（3指数）

(2015 (H27) 年=100)



(5) C I 時系列表

先 行 指 数

(2015 (H27) 年=100)

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2013	107.6	105.1	115.1	110.1	114.2	116.3	118.0	118.8	117.5	125.7	139.1	136.4
2014	116.5	113.9	109.3	103.7	101.9	95.3	106.7	96.7	102.2	97.0	91.4	108.1
2015	90.1	95.4	97.1	101.0	108.2	116.0	103.8	105.0	108.5	94.7	90.5	89.6
2016	93.6	96.2	97.2	107.7	101.2	99.1	107.9	109.2	102.2	118.4	128.7	132.8
2017	138.9	130.7	135.7	132.8	140.3	141.4	142.9	144.4	144.8	141.0	139.6	138.2
2018	130.3	137.6	140.3	135.0	136.9	131.9	132.3	126.3	127.6	120.3	131.2	123.9
2019	132.7	141.3	126.8	139.0	122.4	107.3	107.7	113.6	105.6	107.2	102.3	100.3
2020	92.5	95.5	87.5	72.1	72.3	83.2	94.6	94.1	99.7	108.7	107.4	114.5
2021	113.7	121.2	128.4	138.5	155.4	153.9	138.9	138.0	127.5	121.4	128.7	126.9
2022	121.5	118.1	120.4	124.5	121.1	124.7	125.4	114.7	119.5	121.6	112.7	116.6
2023	112.5	110.9	122.2	106.1	105.3	102.7	104.1	118.8	103.6	113.5	108.3	114.7

一 致 指 数

(2015 (H27) 年=100)

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2013	90.2	88.8	94.9	95.3	99.3	99.7	92.6	100.4	94.0	95.4	99.0	97.3
2014	102.7	97.3	101.3	97.7	99.8	96.3	96.1	97.0	96.1	94.7	93.9	97.7
2015	98.7	98.0	94.0	96.9	102.9	95.2	100.6	98.0	105.9	104.0	105.4	100.4
2016	101.5	104.3	108.4	110.2	98.5	110.6	120.8	108.2	106.5	109.4	121.4	116.5
2017	115.2	110.4	111.4	114.0	118.7	118.5	118.9	126.4	122.2	116.5	110.4	113.1
2018	109.7	109.1	103.2	105.4	104.9	113.5	103.4	106.0	103.6	101.8	99.5	95.5
2019	103.1	97.3	94.9	93.2	87.7	80.5	80.7	78.0	85.1	78.6	81.8	78.9
2020	79.4	80.0	74.9	62.6	56.4	55.9	61.5	59.3	60.9	65.5	64.6	68.0
2021	65.1	64.0	68.8	70.6	71.1	75.2	80.0	75.3	74.8	82.3	84.3	81.2
2022	81.5	76.9	81.2	85.2	84.4	80.8	83.4	83.5	85.8	90.9	88.6	91.1
2023	87.6	91.8	86.7	91.7	88.2	88.7	86.1	85.5	82.5	85.0	82.4	81.7

遅 行 指 数

(2015 (H27) 年=100)

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2013	87.0	86.1	88.1	87.1	94.1	94.7	92.9	93.5	93.4	97.2	96.9	99.5
2014	92.8	95.3	97.9	98.7	102.7	103.1	101.1	106.4	99.6	97.7	100.1	96.5
2015	102.9	98.7	95.4	101.4	97.5	99.9	99.0	95.3	99.9	104.6	102.2	103.1
2016	105.1	105.4	106.7	110.9	107.3	107.4	103.8	103.8	101.7	102.3	109.7	110.5
2017	108.3	110.1	106.6	98.8	100.6	101.4	98.6	100.9	103.6	100.5	99.2	102.7
2018	98.3	98.2	95.3	96.7	95.7	95.2	98.9	97.8	99.1	94.9	92.4	91.4
2019	94.1	92.5	95.5	96.5	97.4	96.1	94.6	91.2	91.9	89.3	92.3	92.2
2020	93.4	97.2	93.6	97.1	97.6	101.6	103.9	100.8	96.8	100.7	93.6	97.7
2021	99.1	94.7	107.5	99.9	106.3	101.6	102.4	106.1	108.8	110.0	111.3	110.8
2022	105.3	105.4	103.5	103.1	98.0	95.8	95.2	93.4	94.8	99.6	97.9	107.1
2023	100.8	99.8	94.0	101.1	101.0	98.1	96.9	95.9	96.4	98.1	96.2	89.4

(6) 個別系列の値

系 列 名			単位	2023					
				7月	8月	9月	10月	11月	12月
(比較月)									
先行系列	1. 乗用車新車登録届出台数	前	%	4.2	21.1	13.0	16.5	11.2	10.2
	2. 生産財生産指数	前	%	△ 9.9	△ 11.0	△ 4.6	△ 8.7	△ 8.5	△ 2.1
	3. 新規求人倍率（全数）	季	倍	1.77	1.93	1.85	1.94	1.74	1.86
	4. 日経商品指数（42種）	前	%	3.1	3.6	4.1	3.5	3.1	2.9
	5. 新設住宅着工床面積	前	%	14.8	△ 4.1	10.1	△ 34.7	△ 25.3	△ 25.6
	6. 建築着工床面積	前	%	△ 15.7	85.5	37.6	104.7	43.3	△ 7.5
	7. 企業倒産件数（逆サイクル）	前	%	50.0	75.0	150.0	33.3	△ 25.0	△ 33.3
	8. 中小企業景況 D I	原	—	△ 23.3	△ 16.7	△ 30.0	△ 30.0	△ 26.7	△ 16.7
一致系列	1. 百貨店・スーパー販売額（既存店）	前	%	4.9	6.8	3.4	2.4	2.2	2.6
	2. 観光入込客数	季	—	793,056	836,346	767,268	740,073	696,064	300,733
	3. 鉱工業生産指数	季	—	96.6	94.5	93.6	93.5	94.1	97.7
	4. 投資財生産指数	季	—	95.6	94.5	91.8	92.9	109.7	110.6
	5. 有効求人倍率（全数）	季	倍	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	6. 輸入通関実績（八戸港）	前	100万円	△ 7.7	△ 24.1	△ 29.6	△ 28.7	△ 24.6	△ 15.0
	7. 所定外労働時間指数（全産業）	前	%	△ 1.0	△ 3.0	△ 4.8	0.0	△ 6.5	△ 5.1
遅行系列	1. 家計消費支出（勤労者世帯：実質）	前	%	△ 3.3	5.1	△ 6.4	△ 26.8	△ 23.1	△ 9.4
	2. 定期給与指数（全産業：実質）	季	—	99.3	98.1	98.1	97.9	98.9	99.9
	3. 有効求職者数（全数）（逆サイクル）	前	%	△ 0.4	△ 1.0	△ 0.5	△ 1.2	△ 0.5	1.1
	4. 県内金融機関貸出残高	前	%	0.7	0.6	0.7	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.2
	5. 青森市消費者物価指数（総合）	前	%	3.3	3.3	3.4	4.4	3.6	3.0
	6. りんご消費地市場価格	季	円	418.0	414.0	456.0	514.0	486.0	244.0
	7. 公共工事請負金額	前	%	5.9	19.1	4.3	40.2	37.8	△ 72.7

季＝センサス局法 X-12-ARIMA による季節調整値

前＝前年同月比

原＝原データ

※1 季節調整値と前年同月比は、統計分析課において計算したものです。

従って、他の報告書等で公表された数字とは異なりますので、ご注意ください。

2 D I 版（参考）

（１）2023（令和５）年12月分結果概要

先 行 指 数	75.0%	（2か月ぶりに50%を上回った）
一 致 指 数	35.7%	（2か月連続で50%を下回った）
遅 行 指 数	14.3%	（4か月連続で50%を下回った）

12月の一致指数は生産関連の指標以外がマイナスになったことから50%を下回った。

（２）個別系列の動き

プラスの指標		マイナスの指標	
先 行 系 列			
乗用車新車登録届出台数	3 か月ぶり	日経商品指数（42種）	4 か月ぶり
生産財生産指数	2 か月ぶり	新設住宅着工床面積	2 か月連続
新規求人倍率（全数）	2 か月ぶり		
建築着工床面積	3 か月連続		
企業倒産件数	2 か月連続		
中小企業景況DI	2 か月連続		
一 致 系 列			
鉱工業生産指数	4 か月ぶり	百貨店・スーパー販売額（既存店）	2 か月連続
投資財生産指数	2 か月連続	観光入込客数	2 か月連続
		輸入通関実績（八戸港）	2 か月連続
		所定外労働時間指数（全産業）	2 か月連続
遅 行 系 列			
定期給与指数（全産業：実質）	6 か月ぶり	家計消費支出（勤労者世帯：実質）	7 か月連続
		有効求職者数（全数）	4 か月連続
		県内金融機関貸出残高	4 か月連続
		青森市消費者物価指数（総合）	6 か月ぶり
		りんご消費地市場価格	9 か月ぶり
		公共工事請負金額	5 か月ぶり

※一致系列の有効求人倍率（全数）は、7か月連続マイナスの後、保合

(3) 変化方向表

系 列 名	2022 2023												
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
先 行 系 列													
1. 乗用車新車登録届出台数	－	＋	＋	－	－	＋	＋	－	＋	＋	－	－	＋
2. 生産財生産指数	－	－	＋	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－	＋
3. 新規求人倍率（全数）	＋	－	－	＋	－	－	＋	－	－	＋	＋	－	＋
4. 日経商品指数（42種）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	＋	＋	＋	－
5. 新設住宅着工床面積	＋	－	＋	＋	＋	－	－	＋	＋	＋	＋	－	－
6. 建築着工床面積	－	－	－	＋	＋	－	＋	＋	－	－	＋	＋	＋
7. 企業倒産件数	＋	＋	－	＋	－	＋	－	＋	－	－	－	＋	＋
8. 中小企業景況 D I	0	＋	＋	－	＋	＋	－	＋	＋	－	－	＋	＋
先 行 指 数	43.8	37.5	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	62.5	50.0	62.5	62.5	50.0	75.0
一 致 系 列													
1. 百貨店・スーパー販売額（既存店）	＋	＋	－	＋	＋	－	－	＋	＋	－	＋	－	－
2. 観光入込客数	＋	＋	＋	＋	＋	－	＋	＋	－	－	＋	－	－
3. 鉱工業生産指数	－	－	＋	－	＋	＋	＋	－	＋	－	－	－	＋
4. 投資財生産指数	＋	＋	＋	－	＋	＋	－	－	＋	－	－	＋	＋
5. 有効求人倍率（全数）	＋	＋	－	0	＋	－	－	－	－	－	－	－	0
6. 輸入通関実績（八戸港）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	＋	＋	－	－
7. 所定外労働時間指数（全産業）	＋	－	＋	－	－	－	＋	－	－	－	＋	－	－
一 致 指 数	71.4	57.1	57.1	35.7	71.4	28.6	42.9	28.6	42.9	14.3	57.1	14.3	35.7
遅 行 系 列													
1. 家計消費支出（勤労者世帯:実質）	－	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	－	－	－	－	－
2. 定期給与指数（全産業:実質）	＋	－	＋	－	－	－	＋	－	－	－	－	－	＋
3. 有効求職者数（全数）	＋	＋	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	－	－
4. 県内金融機関貸出残高	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	－	＋	－	－	－	－
5. 青森市消費者物価指数（総合）	＋	0	－	－	－	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	－
6. りんご消費地市場価格	＋	＋	－	－	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	－
7. 公共工事請負金額	＋	＋	＋	＋	＋	－	－	－	＋	＋	＋	＋	－
遅 行 指 数	85.7	78.6	57.1	57.1	71.4	42.9	42.9	42.9	71.4	42.9	42.9	42.9	14.3

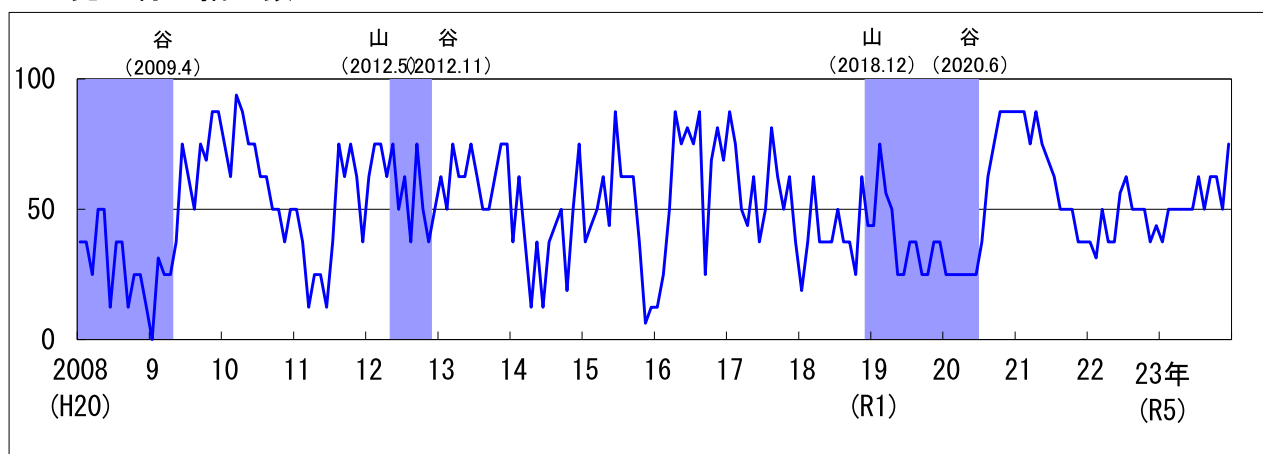
※1 5カ月前と比べて改善した指標をプラス（＋）、悪化した指標をマイナス（－）としています。

先行、一致、遅行のD Iは、それぞれの系列数のうち、プラスの指標が占める割合をあらわしています。

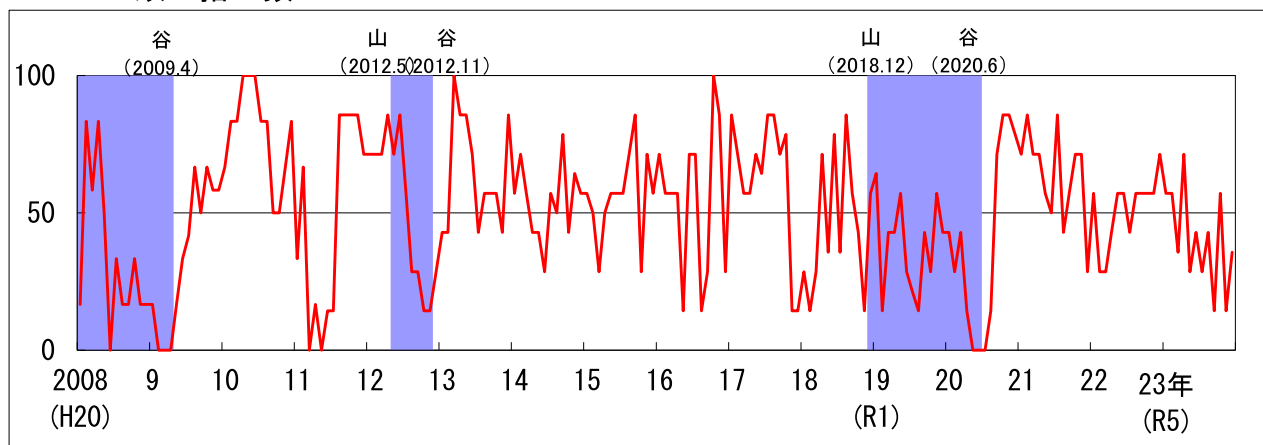
(4) グラフ

①各指数のグラフ

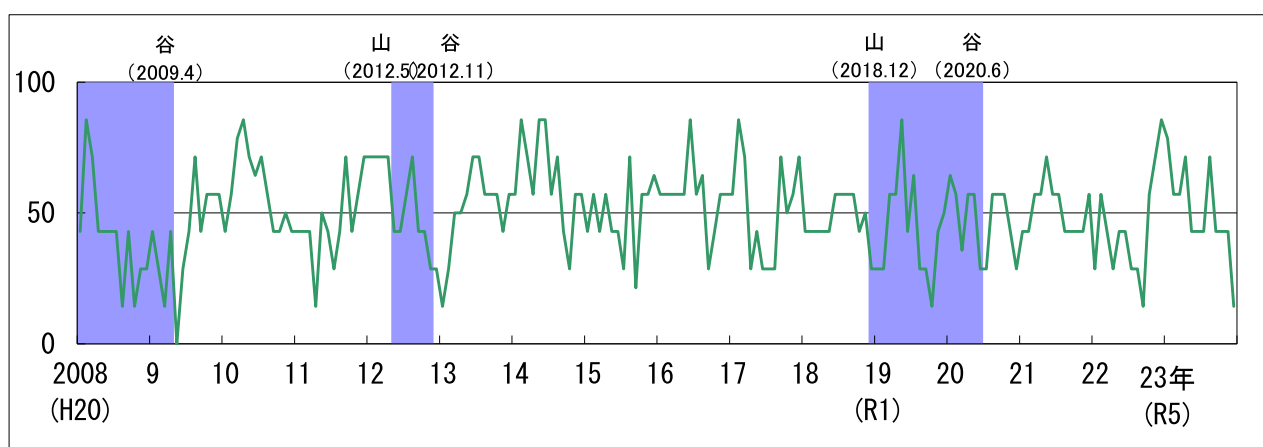
先 行 指 数



一 致 指 数

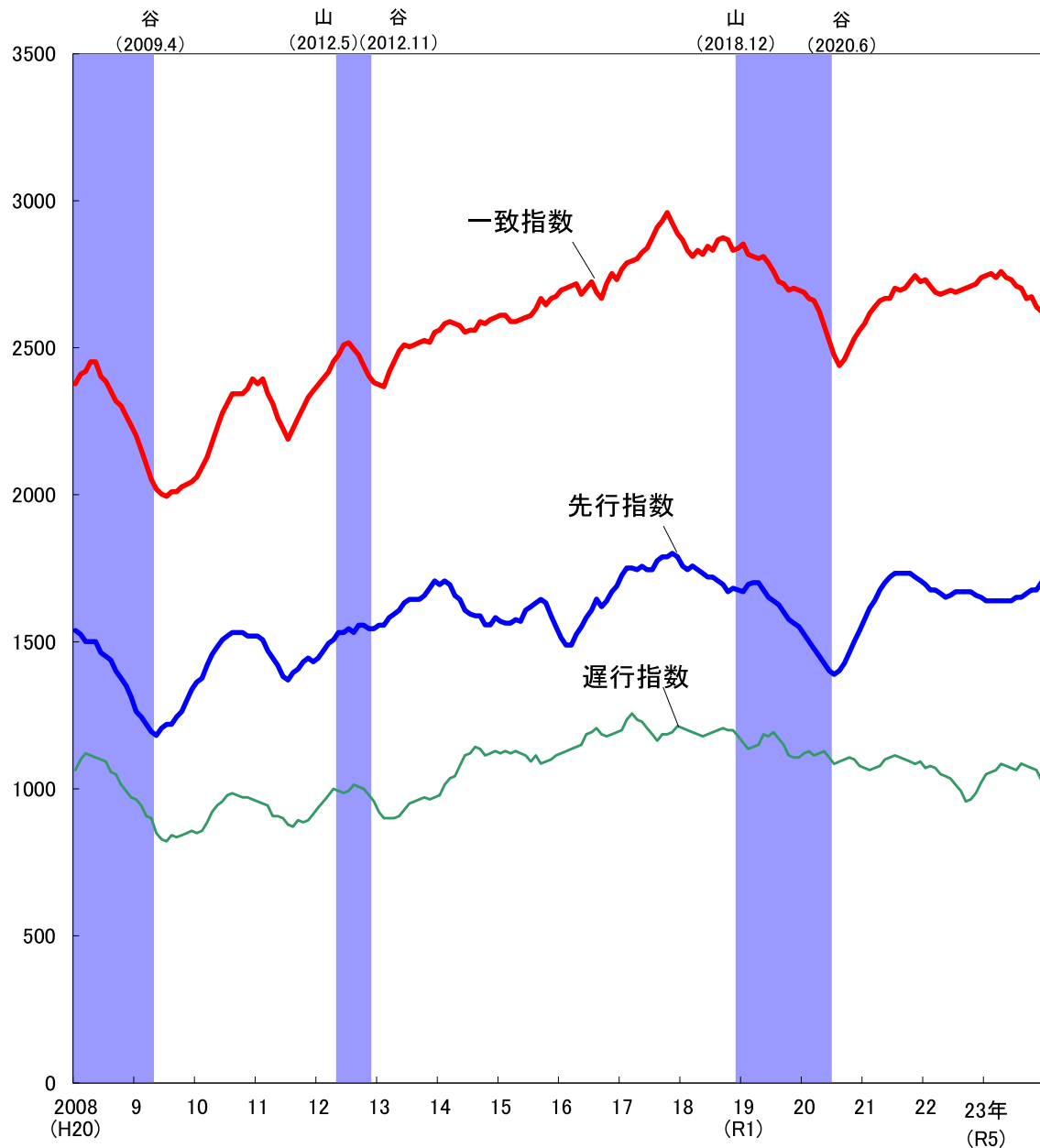


遅 行 指 数



※シャドー部分は本県景気の後退局面。

②累積D I のグラフ



※累積D I = 先月までの累積D I + 今月のD I - 50 (昭和35年6月を0としています)

月々のD I から50を引き、累積したものですから、D I が50%を上回れば上昇し、50%を下回れば下降します。

グラフにすると、景気の基調的な動きが視覚的にわかりやすくなります。

(5) 時系列表

先 行 指 数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2007	62.5	50.0	75.0	50.0	37.5	81.3	50.0	37.5	37.5	68.8	31.3	25.0
2008	37.5	37.5	25.0	50.0	50.0	12.5	37.5	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5
2009	0.0	31.3	25.0	25.0	37.5	75.0	62.5	50.0	75.0	68.8	87.5	87.5
2010	75.0	62.5	93.8	87.5	75.0	75.0	62.5	62.5	50.0	50.0	37.5	50.0
2011	50.0	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5	37.5	75.0	62.5	75.0	62.5	37.5
2012	62.5	75.0	75.0	62.5	75.0	50.0	62.5	37.5	75.0	50.0	37.5	50.0
2013	62.5	50.0	75.0	62.5	62.5	75.0	62.5	50.0	50.0	62.5	75.0	75.0
2014	37.5	62.5	37.5	12.5	37.5	12.5	37.5	43.8	50.0	18.8	50.0	75.0
2015	37.5	43.8	50.0	62.5	43.8	87.5	62.5	62.5	62.5	37.5	6.3	12.5
2016	12.5	25.0	50.0	87.5	75.0	81.3	75.0	87.5	25.0	68.8	81.3	68.8
2017	87.5	75.0	50.0	43.8	62.5	37.5	50.0	81.3	62.5	50.0	62.5	37.5
2018	18.8	37.5	62.5	37.5	37.5	37.5	50.0	37.5	37.5	25.0	62.5	43.8
2019	43.8	75.0	56.3	50.0	25.0	25.0	37.5	37.5	25.0	25.0	37.5	37.5
2020	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	37.5	62.5	75.0	87.5	87.5	87.5
2021	87.5	87.5	75.0	87.5	75.0	68.8	62.5	50.0	50.0	50.0	37.5	37.5
2022	37.5	31.3	50.0	37.5	37.5	56.3	62.5	50.0	50.0	50.0	37.5	43.8
2023	37.5	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	62.5	50.0	62.5	62.5	50.0	75.0

一 致 指 数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2007	83.3	83.3	58.3	66.7	50.0	58.3	50.0	41.7	16.7	58.3	0.0	33.3
2008	16.7	83.3	58.3	83.3	50.0	0.0	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7
2009	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	41.7	66.7	50.0	66.7	58.3	58.3
2010	66.7	83.3	83.3	100.0	100.0	100.0	83.3	83.3	50.0	50.0	66.7	83.3
2011	33.3	66.7	0.0	16.7	0.0	14.3	14.3	85.7	85.7	85.7	85.7	71.4
2012	71.4	71.4	71.4	85.7	71.4	85.7	57.1	28.6	28.6	14.3	14.3	28.6
2013	42.9	42.9	100.0	85.7	85.7	71.4	42.9	57.1	57.1	57.1	42.9	85.7
2014	57.1	71.4	57.1	42.9	42.9	28.6	57.1	50.0	78.6	42.9	64.3	57.1
2015	57.1	50.0	28.6	50.0	57.1	57.1	57.1	71.4	85.7	28.6	71.4	57.1
2016	71.4	57.1	57.1	57.1	14.3	71.4	71.4	14.3	28.6	100.0	85.7	28.6
2017	85.7	71.4	57.1	57.1	71.4	64.3	85.7	85.7	71.4	78.6	14.3	14.3
2018	28.6	14.3	28.6	71.4	35.7	78.6	35.7	85.7	57.1	42.9	14.3	57.1
2019	64.3	14.3	42.9	42.9	57.1	28.6	21.4	14.3	42.9	28.6	57.1	42.9
2020	42.9	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	71.4	85.7	85.7	78.6
2021	71.4	85.7	71.4	71.4	57.1	50.0	85.7	42.9	57.1	71.4	71.4	28.6
2022	57.1	28.6	28.6	42.9	57.1	57.1	42.9	57.1	57.1	57.1	57.1	71.4
2023	57.1	57.1	35.7	71.4	28.6	42.9	28.6	42.9	14.3	57.1	14.3	35.7

遅 行 指 数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2007	42.9	14.3	28.6	57.1	57.1	42.9	71.4	57.1	42.9	42.9	57.1	71.4
2008	42.9	85.7	71.4	42.9	42.9	42.9	42.9	14.3	42.9	14.3	28.6	28.6
2009	42.9	28.6	14.3	42.9	0.0	28.6	42.9	71.4	42.9	57.1	57.1	57.1
2010	42.9	57.1	78.6	85.7	71.4	64.3	71.4	57.1	42.9	42.9	50.0	42.9
2011	42.9	42.9	42.9	14.3	50.0	42.9	28.6	42.9	71.4	42.9	57.1	71.4
2012	71.4	71.4	71.4	71.4	42.9	42.9	57.1	71.4	42.9	42.9	28.6	28.6
2013	14.3	28.6	50.0	50.0	57.1	71.4	71.4	57.1	57.1	57.1	42.9	57.1
2014	57.1	85.7	71.4	57.1	85.7	85.7	57.1	71.4	42.9	28.6	57.1	57.1
2015	42.9	57.1	42.9	57.1	42.9	42.9	28.6	71.4	21.4	57.1	57.1	64.3
2016	57.1	57.1	57.1	57.1	57.1	85.7	57.1	64.3	28.6	42.9	57.1	57.1
2017	57.1	85.7	71.4	28.6	42.9	28.6	28.6	28.6	71.4	50.0	57.1	71.4
2018	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9	57.1	57.1	57.1	57.1	42.9	50.0	28.6
2019	28.6	28.6	57.1	57.1	85.7	42.9	64.3	28.6	28.6	14.3	42.9	50.0
2020	64.3	57.1	35.7	57.1	57.1	28.6	28.6	57.1	57.1	57.1	42.9	28.6
2021	42.9	42.9	57.1	57.1	71.4	57.1	57.1	42.9	42.9	42.9	42.9	57.1
2022	28.6	57.1	42.9	28.6	42.9	42.9	28.6	28.6	14.3	57.1	71.4	85.7
2023	78.6	57.1	57.1	71.4	42.9	42.9	42.9	71.4	42.9	42.9	42.9	14.3

(6) 個別系列の値

系 列 名				2023						
				単位	7月 (比較月)	8月	9月	10月	11月	12月
先行系列	1. 乗用車新車登録届出台数	前	%		4.2	21.1	13.0	16.5	11.2	10.2
	2. 生産財生産指数	前	%		△ 9.9	△ 11.0	△ 4.6	△ 8.7	△ 8.5	△ 2.1
	3. 新規求人倍率（全数）	季	倍		1.8	1.9	1.9	1.9	1.7	1.9
	4. 日経商品指数（42種）	前	%		3.1	3.6	4.1	3.5	3.1	2.9
	5. 新設住宅着工床面積	前	%		14.8	△ 4.1	10.1	△ 34.7	△ 25.3	△ 25.6
	6. 建築着工床面積	前	%		△ 15.7	85.5	37.6	104.7	43.3	△ 7.5
	7. 企業倒産件数（逆サイクル）	前	%		50.0	75.0	150.0	33.3	△ 25.0	△ 33.3
	8. 中小企業景況 D I	原	—		△ 23.3	△ 16.7	△ 30.0	△ 30.0	△ 26.7	△ 16.7
一致系列	1. 百貨店・スーパー販売額（既存店）	前	%		4.9	6.8	3.4	2.4	2.2	2.6
	2. 観光入込客数	季	—		793,056	836,346	767,268	740,073	696,064	300,733
	3. 鉱工業生産指数	季	—		96.6	94.5	93.6	93.5	94.1	97.7
	4. 投資財生産指数	季	—		95.6	94.5	91.8	92.9	109.7	110.6
	5. 有効求人倍率（全数）	季	倍		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	6. 輸入通関実績（八戸港）	前	100万円		△ 7.7	△ 24.1	△ 29.6	△ 28.7	△ 24.6	△ 15.0
	7. 所定外労働時間指数（全産業）	前	%		△ 1.0	△ 3.0	△ 4.8	0.0	△ 6.5	△ 5.1
遅行系列	1. 家計消費支出（勤労者世帯：実質）	前	%		△ 3.3	5.1	△ 6.4	△ 26.8	△ 23.1	△ 9.4
	2. 定期給与指数（全産業：実質）	季	—		99.3	98.1	98.1	97.9	98.9	99.9
	3. 有効求職者数（全数）（逆サイクル）	前	%		△ 0.4	△ 1.0	△ 0.5	△ 1.2	△ 0.5	1.1
	4. 県内金融機関貸出残高	前	%		0.7	0.6	0.7	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.2
	5. 青森市消費者物価指数（総合）	前	%		3.3	3.3	3.4	4.4	3.6	3.0
	6. りんご消費地市場価格	季	円		418.0	414.0	456.0	514.0	486.0	244.0
	7. 公共工事請負金額	前	%		5.9	19.1	4.3	40.2	37.8	△ 72.7

季＝センサス局法 X-12-ARIMA による季節調整値

前＝前年同月比

原＝原データ

※1 季節調整値と前年同月比は、統計分析課において計算したものです。

従って、他の報告書等で公表された数字とは異なりますので、ご注意ください。

3 利用の手引き

(1) 青森県景気動向指数について

景気動向指数は、生産、雇用、消費など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握及び将来予測に用いるために作成された指標である。

景気動向指数には、構成する指標の動きを合成することで景気変動の大きさやテンポ（量感）の測定に用いるC I（コンポジット・インデックス）と、構成する指標のうち、改善している指標の割合を算出することで、景気各経済部門への波及の度合い（波及度）を測定するD I（ディフュージョン・インデックス）がある。C IとD Iにはそれぞれ、景気に対し先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3つの指数がある。

本県では、1981～1982(昭和56～57)年度に開発し（1960(昭和35)年まで遡及）、2010(平成22)年12月分まではD Iを中心とした公表形態としていたが、2011(平成23)年1月分以降、C I中心の公表形態に移行し（2004(平成16)年まで遡及）、D Iは参考指標として引き続き作成・公表している。なお、景気基準日付（景気の山・谷）の設定には、従前どおりヒストリカルD Iを用いている。

① C Iの概要と利用の仕方

<目的>

C Iは、主として景気変動の大きさやテンポ（量感）を測定することを目的としている。

<利用の仕方>

1. C Iが上昇している時が景気の拡張期（好況）であり、低下している時が景気の後退期（不況）である。
2. C I一致指数の動きと景気の転換点（景気の山・谷）は概ね一致する。
3. C Iの変化の大きさから、景気の拡張・後退のテンポ（量感、勢い）を読み取る。
4. 月々のC Iの動きについては、極端な外れ値（異常値）の影響は除かれているが、不規則な動きも含まれているため、一定期間の平均値でならした動きをみる必要がある。
5. 「3カ月後方移動平均」の符号の変化により、基調の変化（改善⇔足踏み、悪化⇔下げ止まり）を、「7カ月後方移動平均」の符号の変化により、景気の局面変化（景気拡張期⇔景気後退期）をみる。

※C Iによる基調判断は行っていない。（青森県経済統計報告において基調判断している）

② D Iの概要と利用の仕方

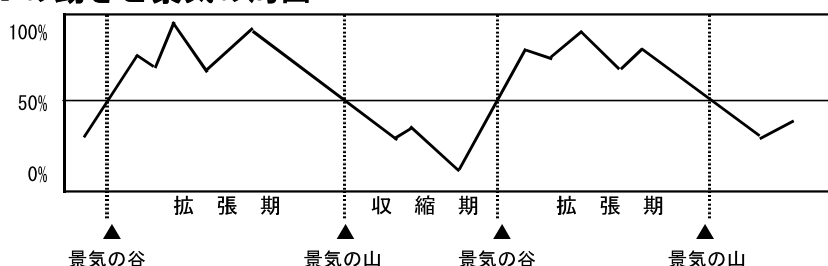
<目的>

D Iは、景気拡張の動きの各経済部門への波及度合いを測定することを主な目的とする。

<利用の仕方>

1. D Iは、0から100%の間で変動する。
2. D Iが、50%ラインを上回っている期間が景気の拡張期（好況）であり、50%ラインを下回っている期間が景気の収縮期（不況）である。
3. D Iが、50%ラインを上から下に切る時点が「景気の山」（拡張期から収縮期への転換点）、50%ラインを下から上に切る時点が「景気の谷」（収縮期から拡張期への転換点）である。

D Iの動きと景気の局面



(2) 青森県景気動向指数採用系列の概要

	分野	系 列 名		作成機関	資料出所	備 考
先行系列	消費	1. 乗用車新車登録届出台数	前	青森県自動車会議所	「自動車登録状況新車月報」	普通＋小型＋軽乗用
	生産	2. 生産財生産指数	前	県統計分析課	「鉱工業生産指数」	2015(平成27)年=100
	雇用	3. 新規求人倍率(全数)	季	青森労働局職業安定部	「職業安定業務取扱月報」	
	投資	4. 新設住宅着工床面積	前	県建築住宅課	「建築着工統計月報」	
		5. 建築着工床面積	前	県建築住宅課	「建築着工統計月報」	鉱工業＋商業＋サービス業(3か月後方平均)
	企業活動	6. 企業倒産件数	前	東京商工リサーチ青森・八戸支店	「青森県企業倒産状況」	負債総額1千万円以上 ※逆サイクル(3か月後方平均)
		7. 中小企業景況DI	原	青森県中小企業団体中央会	「中小企業あおもり」	前年同月と比べた景況感
	物価	8. 日経商品指数(42種)	前	日本経済新聞社	「日本経済新聞」	
一致系列	消費	1. 百貨店・スーパー販売額(既存店)	前	東北経済産業局	「東北地域百貨店・スーパー販売額動向」	既存店 前年同月比
		2. 観光入込客数	季	県観光企画課	「月例観光統計」	2023(令和5)年8月分より採用
	生産	3. 鉱工業生産指数	季	県統計分析課	「鉱工業生産指数」	2015(平成27)年=100
		4. 投資財生産指数	季	県統計分析課	「鉱工業生産指数」	2015(平成27)年=100
	雇用	5. 有効求人倍率(全数)	季	青森労働局職業安定部	「職業安定業務取扱月報」	
		6. 所定外労働時間指数	前	県統計分析課	「毎月勤労統計調査」	30人以上、全産業 2020(令和2)年=100
	物流	7. 輸入通関実績(八戸港)	前	財務省	「普通貿易統計」	3か月後方平均
遅行系列	消費	1. 家計消費支出(勤労者世帯)	前	総務省	「家計調査」	青森市消費者物価指数(総合)により実質化 2023(令和5)年8月分より採用
	雇用	2. 定期給与指数(全産業)	季	県統計分析課	「毎月勤労統計調査」	30人以上、全産業 2020(令和2)年=100 消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)により実質化
		3. 有効求職者数(全数)	季	青森労働局職業安定部	「職業安定業務取扱月報」	※逆サイクル
	金融	4. 県内金融機関貸出残高	前	日本銀行青森支店	「県内金融経済概況」	県内所在の国内銀行、信用金庫、信用組合の合計(県内店舗ベース)
	物価	5. 青森市消費者物価指数(総合)	前	総務省	「消費者物価指数」	2020(令和2)年=100
	農林	6. りんご消費地市場価格	季	県りんご果樹課	「りんごの販売価格」	
	財政	7. 公共工事請負金額	前	東日本建設業保証(株)青森支店	「青森県内の公共工事の動向」	

※季＝センサス局法X-1 2-ARIMAによる季節調整値、前＝前年同月比、原＝原データ

※建築着工床面積については、建築物用途分類が改定されたため、2003(平成15)年4月分まで新分類による遡及改定を行っています。

(3) 季節調整法 X-12-ARIMA による ARIMA モデル等一覧

データ名	期間	ARIMAモデル	回帰変数	異常値
観光入込客数	2003-2022	(011) (011)	指定なし	TC2011. Mar, LS2020. Mar, TC2020. Apr, A02020. May, A02020. Aug, A02021. Jan, TC2021. Apr, TC2021. May, A02021. Sep, TC2022. Feb
定期給与指数（全産業）	2003-2022	(112) (011)	指定なし	
消費者物価指数 （持家の帰属家賃を除く総合）	2003-2022	(012) (111)	指定なし	LS2018. Jan, A02021. Jan
りんご消費地市場価格	2003-2022	(211) (111)	指定なし	LS2014. Sep, TC2015. Aug, A02016. Aug

※新規求人倍率、有効求人倍率は、公表された季節調整値をそのまま使用しています。

※鉱工業生産指数は、2008（平成20）年1～3月の時点で旧基準との接続を行い、2004（平成16）年1月まで遡及した過去時系列（接続指数）を使用しています。

※消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）の季節調整値は、定期給与指数（全産業）の実質化に使用しています。

※最新の季節調整は、2023（令和5）年1月分の公表時に遡及して行っています。

<スベックファイル例>

```
series{
  title="*****"
  start=2003.1
  file="d:\arima\dat\*****.txt"
  span=(2003.1,)
  name=kakei
}
transform{function=log}
arima{model=(2 1 1)(0 1 1)}
regression{variables=(TC2019. Oct
)}
estimate{ }
forecast {maxlead=60}
x11 {appendfcst=yes
  save=(d11 d16)
}
history {estimates=sadjchng}
```

<ARIMAモデルの決定方法及び回帰変数の組合せ等に関する参考文献>

- ① 奥本佳伸（経済企画庁経済研究所編）『季節調整法の比較研究』（大蔵省印刷局 2000.06）
- ② 奥本佳伸『季節調整法センサス局法 X-12-ARIMA の適用における日本型曜日調整の有効性』（千葉大学経済研究 第16巻第1号 2001.06）

問い合わせ先

〒030-8570 青森市長島1丁目1-1

青森県企画政策部統計分析課

統計情報分析グループ

TEL 017-734-9166(直通)

E-mail tokei@pref.aomori.lg.jp